



# SONIC CITY

2024 SERIES

2:00pm, January 11th (SAT),

2025

147

ソニックシティ 2024 シリーズ 第 147 回 さいたま定期演奏会  
2025年 1月 11日(土) 午後 2 時開演 / ソニックシティ 大ホール

## 第147回さいたま定期演奏会 日本フィルハーモニー交響楽団

ブラームス

### ヴァイオリン協奏曲 二長調 op.77 (約38分)

Johannes BRAHMS: Concerto for Violin and Orchestra in D-major, op.77

～休憩(20分)～

ドヴォルジヤーク

### 交響曲第9番《新世界より》ホ短調 op.95 (約42分)

Antonín DVOŘÁK: Symphony No.9 "From the New World" in E-minor, op.95

指揮：沼尻竜典

Conductor: NUMAJIRI Ryusuke

ヴァイオリン：三浦文彰

Violin: MIURA Fumiaki

コンサートマスター：田野倉雅秋 [日本フィル・ソロ・コンサートマスター]

Concertmaster: TANOKURA Masaaki, JPO Solo Concertmaster

ソロ・チェロ：菊地知也 [日本フィル・ソロ・チェロ]

Solo Violoncello: KIKUCHI Tomoya, JPO Solo Violoncello

#### 主催

公益財団法人埼玉県産業文化センター / さいたま市 / 公益財団法人日本フィルハーモニー交響楽団

#### 後援

埼玉県 / 埼玉県教育委員会 / さいたま市教育委員会 / 埼玉県吹奏楽連盟

#### 協賛

パレスホテル大宮

#### 表紙作品提供

埼玉県立新座総合技術高等学校 デザイン専攻科 木代 実希

作品名「ペール」

作者コメント「多種多様な色を使いオーケストラの音の多様性と華やかさを表現して、音の姿を丸や線で抽象的に描きました。」

**【アンケートのお願い】** 今後のソニックシティ主催公演参考のため、アンケートへのご協力をお願いいたします。アンケートにお答えいただきました方から抽選で3名様に本日の出演者・沼尻竜典氏、三浦文彰氏のサイン色紙をお送りいたします。右の二次元コードより、スマートフォン・タブレットからお答えください。(所要時間約5分)



▶全てのプログラムが終了した時写真撮影が可能になりました。撮影はスマートフォン・携帯電話のみ、自席にご着席のまま行い、動画の撮影はご遠慮ください。是非、コンサートの感動を多くの方と分かち合っていただけばと存じます。(SNS等への投稿の際は、#ソニックシティの追加をお願いします)



## 指揮：沼尻竜典

神奈川フィルハーモニー管弦楽団音楽監督。トウキョウ・ミタカ・フィルハーモニア音楽監督、びわ湖ホール桂冠芸術監督。ベルリン留学中の1990年、ブザンソン国際指揮者コンクールで優勝。以後、ロンドン響、モントリオール響、ベルリン・ドイツ響、ベルリン・コンツェルトハウス管、フランス放送フィル、トゥールーズ・キャピトル管、ミラノ・ジュゼッペ・ヴェルディ響、シドニー響、チャイナ・フィル等、世界各国のオーケストラに客演を重ねる。国内外で数々のポストを歴任。ドイツではリュベック歌劇場音楽総監督を務め、オペラ公演、劇場専属のリュベック・フィルとのコンサートの双方において多くの名演を残した。ケルン歌劇場、バイエルン州立歌

劇場、ベルリン・コーミッシェ・オーパー、バーゼル歌劇場、シドニー歌劇場等へも客演。16年間にわたって芸術監督を務めたびわ湖ホールでは、ミハエル・ハンベの新演出による《ニーベルングの指環》を含め、ワーグナー作曲の主要10作品をすべて指揮した。14年には横浜みなとみらいホールの委嘱でオペラ《竹取物語》を作曲・初演、国内外で再演されている。17年紫綬褒章受章。2003～08年にわたり日本フィル正指揮者を務めた。



©Masahiro Uto

## ヴァイオリン：三浦文彰

世界最難関と言われるハノーファー国際コンクールにおいて、史上最年少の16歳で優勝。国際的に一躍脚光を浴びた。18年からサントリーホールARKクラシックスのアーティストティック・リーダー、24年に宮崎国際音楽祭の音楽監督に就任。ロサンゼルス・フィル、マリンスキー劇場管、ベルリン・ドイツ響などと共演。共演した指揮者にドゥダメル、ゲルギエフ、ズーカーマンなどが挙げられる。ロンドンの名門ロイヤル・フィルのアーティスト・イン・レジデンスも務めた。また、大河ドラマ「真田丸」テーマ音楽を演奏したことやTBS「情熱大陸」への出演も大きな話題になった。24年には、イスラエル・フィルの定期公演に出演して絶賛を博

す。近年は指揮活動もはじめており、スペインのアリカンテ響、東京フィル、京都市響、広島響、山形響なども指揮して好評を博す。25年にはフィルハーモニア管、バンベルク響と共演予定。CDはエイベックス・クラシックスよりリリース。09年度第20回出光音楽賞受賞。22年「Forbes」Asiaにおいて「30 under 30（世界を変える30歳未満の30人）」に選出される。使用楽器は株式会社クリスコ（志村晶代表取締役）から貸与された1732年製ガエルネリ・デル・ジェス「カストン」。

## 破 ～新たな地平を目指す突破力に生きる～

### ブラームス ヴァイオリン協奏曲 二長調 op.77

ドイツ北部ハンブルクに生まれたブラームス(1833-97)は、壮年時代にオーストリアのウィーンへと徐々に活動拠点を移す。ウィーンに根付く音楽の伝統を吸収したい、という想いからだったが、逆にこの街で過去に生まれた数々の傑作が重圧となってしまった。

それでも40歳代半ばになると、続々と作品を発表。1877-78年にかけて書かれた『ヴァイオリン協奏曲』には、北ドイツの寒さや暗さよりも、ウィーンや、夏の避暑地だった南オーストリアの、暖かさや明るさを感じ取れる。

とはいえ、伝統に学びながらも、それを糧に新たな道を切り開いたブラームスである。巨大な第1楽章はソナタ形式で書かれているのだが、普通であれば第1・第2主題の両方が提示されるオーケストラの序奏部では第1主題しか登場せず、第1主題を受け継いだヴァイオリン独奏によってはじめて第2主題が奏でられる。

あるいは、第2楽章の場合。オーボエの独奏が延々と続く中、ヴァイオリンの独奏者がひたすら出番を待つという異例の構成だ。協奏曲の多くが独奏者をメインとして書かれていた時代に、ヴァイオリン独奏とオーケストラに同等の力関係を与えようとする斬新な考え方に他ならない。

ようやく、「普通の」協奏曲らしくするのは最後の第3楽章である。それでもヴァイオリンとオーケストラが交互にハンガリー風の情熱的なメロディを交し合う中、2拍子と3拍子を組み合わせたりリズムであえて破調が作られるといった具合に、独奏とオーケストラの文字通り「協奏」が最後まで貫かれる。

### ドヴォルジャーク 交響曲第9番《新世界より》ホ短調 op.95

現在でこそ「チェコの音楽家」と言われているドヴォルジャーク(1841-1904)。だが「チェコ」とは当時、チェコ語が話されている地域という意味合いであり、その中心地はチェコの西部に位置するボヘミアだった。しかも当時のボヘミアは、オーストリアを本拠地とするドイツ系貴族のハプスブルク家に支配されていた。

こうした状況の下、プラハにはハプスブルク家の支配もあって、ドイツの文化とチェコの文化が絶妙な形で共存していた。ドヴォルジャーク自身、オーストリア特にその都のウィーンと密接なつながりを持ち、ブラームスからも様々な支援をうけたほど。ただし当時のボヘミアでは、チェコ語を第一言語とする人々＝チェコ人による民族独立を果たそうとする動きも強まっており、それがドイツ系住民との軋轢を生みつつあった。

そんな最中の1892年、ドヴォルジャークは渡米した。まだ新興国だったアメリカはニューヨークの音楽院の院長職を打診され、迷った挙句にそれを引き受けたのである。そして彼の地で、それまで知らなかった新たな音楽に次々と出会った。しかもその一方で、新大陸からはるか彼方に仰ぎ見る祖国は、依然としてオーストリアの支配の下に置かれており、彼自身深刻なホームシックにかかる…。

このような葛藤の狭間で1893年に完成されたのが、交響曲第9番《新世界より》。アメリカという新世界で得た未体験の音楽文化を下敷きにしながらも、懐かしいヨーロッパ、ひいてはボヘミアに寄せ続けた、彼の痛切な思いの結晶に他ならない。何よりもタイトルが『新世界』にあらず、『新世界より』となっているのが、その証拠である。

郷愁に溢れた第2楽章の有名なテーマをはじめ、随所に幻のように現れる儂く幸せな楽想。そして第4楽章では、強奏のかわりに、長く引き伸ばされた和音が静かに消えてゆくという異例の終結部。それは、ボヘミアというヨーロッパの周辺部と、アメリカという世界の周辺部の文化を織り交ぜつつ、音楽を通じてこれまでの世界に新たな風穴を開ける動きでもあっただろう。

## 〈アート〉と音楽 その⑤

2024年シリーズのコラムでは、新座総合技術高校デザイン専攻科の生徒のみなさんによるロビー装飾にちなんで、造形芸術と音楽との関係についてご紹介いたします。

### ブラームス幻想



クリンガー画 『ブラームス幻想』

ブラームスといえば、髭を蓄えた厳めしい風貌、さらには周囲の人間から「ベートーヴェンの衣鉢を継ぎ、ドイツ音楽の伝統を汲むにふさわしい人物」と喧伝されたことから、何やら頑固な保守主義者のように思われがちだ。だが曲目解説でも書いたように、彼は伝統に学び、時にその重みに押しつぶされそうになりながらも、自分自身の道を切り開いていった音楽家だった。

何しろ元々ドイツ各地を転々としていたブラームスがウィーンに腰を下ろし始めた1860年代、伝統と格式をほこるこの古い帝都は、大規模な都市改造を経て、ヨーロッ

パ有数の近代都市へと変貌を遂げつつあった。またそうした状況の中で、彼自身もまた、古めかしそうであるが、そこに進取の気性を湛えた「温故知新」の精神に基づく作品を作り続けていたのである。

そんなブラームスが具えていた古びない新しさは、さらに後の世代の芸術家をも魅了してゆく。その1人こそ、19世紀末から20世紀初頭のウィーンの造形美術界で話題を呼んだ分離派とも密接な関係にあった、画家であり彫刻家のマックス・クリンガー（1857-1920）。分離派とは、古色蒼然たる美術や建築のあり方から文字通り「分離」し、新たな時代に即した芸術のあり方を求めるグループだった。そしてクリンガーもまた、そうした分離派の姿勢に、大きな共感を寄せた。

そんなクリンガーが、1888年から取り組んだ一連のエッチングのシリーズが『ブラームス幻想』である。クリンガー自身、大の音楽愛好家だったからこそこの作品だが、当時何かと言えば「保守派」として捉えられていたブラームスの中に、クリンガーが時代を超越した新しさを見て取っていたことの証拠である。一人、クリンガーだけではない。西洋音楽伝来の調性を破壊したと言われている「現代音楽の祖」アルノルト・シェーンベルク（1874-1951）も、ブラームスの作品の中に恐ろしいほどの革新性を見て取っていた。

ちなみにクリンガーによる一連の『ブラームス幻想』は、数年間をかけて完成。1894年1月、晩年のブラームスの下にもそれらは届けられた。

## 第147回さいたま定期演奏会に寄せて

この度は第147回さいたま定期演奏会の開催を心よりお慶び申し上げます。

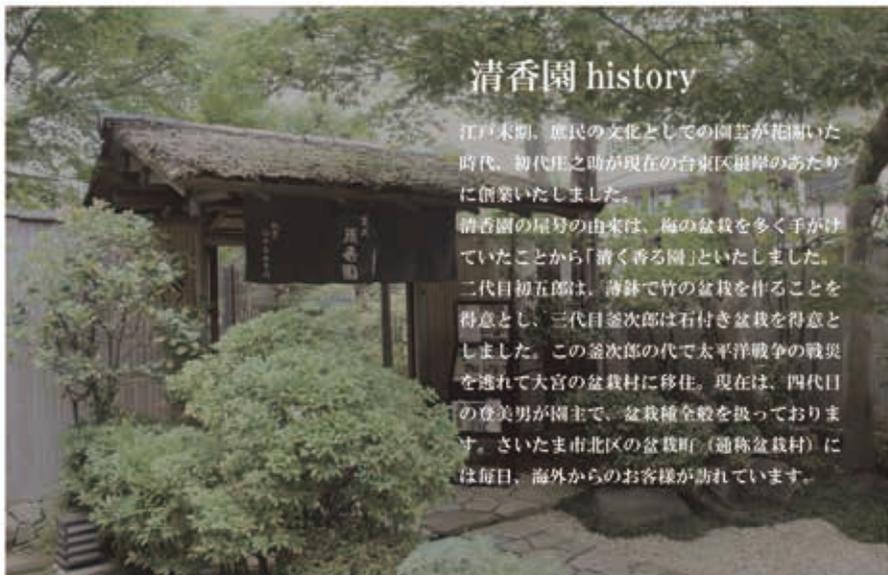
今回、ステージ左側には樹齢約150年の五葉松（ゴヨウマツ）を展示させて頂きました。五葉松は古くから縁起の良い木として親しまれてきた日本固有種の樹木でございます。本作は主幹の太さや左右に拡がった枝棚が見どころとなる、非常に力強い作品でございます。盆栽の王道である模様木樹形に仕立てられ、堂々たる大樹の様相を呈しています。

右側には、樹齢約200年の赤松（アカマツ）を展示させて頂きました。赤松は女松とも呼ばれ、しなやかでやさしい幹の線や、細くてやわらかい葉が特徴とされる伝統的な樹木でございます。文人という軽妙洒脱な雰囲気をもった樹形に仕立てられることが多く、本作もその一つでございます。ですが文人樹形のなかでも本作は、永い時間を経たことによって剛健さも兼ね備えるようになった、時代を感じる逸品とも言えるでしょう。

オーケストラの演奏と、盆栽の景色の調和をお楽しみいただけましたら幸甚に存じます。

盆栽清香園 山田寅幸





## 清香園 history

江戸末期、庶民の文化としての園芸が花開いた時代、初代庄之助が現在の台東区根岸のあたりに創業いたしました。

清香園の屋号の由来は、梅の盆栽を多く手がけていたことから「清く香る園」といたしました。

二代目初五郎は、薄鉢で竹の盆栽を作ることを得意とし、三代目釜次郎は石付き盆栽を得意としました。この釜次郎の代で太平洋戦争の戦災を逃れて大宮の盆栽村に移住。現在は、四代目の登美男が園主で、盆栽種全般を扱っております。さいたま市北区の盆栽町（通称盆栽村）には毎日、海外からのお客様が訪れています。

## お客様に一番身近な「窓口」としての 専門店を目指して

盆栽園という枠組みに捉われず、  
お客様に寄り添う専門店を実現していきます。





日本フィルハーモニー交響楽団  
第149回さいたま定期演奏会

2025 **5.24** SAT  
開場13時 開演14時

指揮：カーチュン・ウォン ヴァイオリン：服部百音  
曲目：シベリウス／ヴァイオリン協奏曲  
マーラー／交響曲第5番

©Ayane Sato ©YUI HORI

公演詳細




日本フィルハーモニー交響楽団  
第150回さいたま定期演奏会

2025 **7.4** FRI  
開場18時 開演19時

指揮：原田慶太楼 ピアノ：阪田知樹  
曲目：ラフマニノフ／ヴォカリーズ (管弦楽版)  
ラフマニノフ／パガニーニの主題による狂詩曲  
ラフマニノフ／交響曲第2番

©kumiko suzuki ©HIDEKI NAMAI

公演詳細




日本フィルハーモニー交響楽団  
第151回さいたま定期演奏会

2025 **9.27** SAT  
開場13時 開演14時

指揮：小林研一郎 ヴァイオリン：神尾真由子  
曲目：サン＝サーンス／ヴァイオリン協奏曲第3番  
チャイコフスキー／交響曲第5番

©Makoto Kamiya

公演詳細




日本フィルハーモニー交響楽団  
第152回さいたま定期演奏会

2025 **11.15** SAT  
開場13時 開演14時

指揮：西本智実 ヴァイオリン：金川真弓  
曲目：ベートーヴェン／ヴァイオリン協奏曲  
ドビュッシー／小組曲  
ラヴェル／ボレロ

©木村画軌 ©Victor Marin

公演詳細



■チケット価格 (単独券)

S：6,000円 A：4,500円 B：3,500円 Ys：2,000円 (5.24/7.4/9.27/11.15/1.31/3.28)

S：7,000円 A：5,500円 B：4,000円 Ys：2,000円 (12.12)

ホールメンバーズ、チョイス券など、各種割引あり

好評発売中!

日本フィル・ソニックシティ  
「第九」演奏会2025  
2025 **12.12** FRI  
開場18時 開演19時

指揮：出口大地  
ピアノ：浜松国際ピアノコンクール入賞者  
ソプラノ：砂田愛梨 メゾソプラノ：山下裕賢  
テノール：石井基幾 バリトン：高橋宏典  
合唱：埼玉第九合唱団  
曲目：リスト/ピアノ協奏曲第1番  
ベートーヴェン/交響曲第9番「合唱」

©Satoru Masuko ©Yoshinobu Fukaya  
©hiro.pberg\_berlin ©FUKAYA AauraY2 ©hiro.photo

公演詳細  
QRコード

日本フィルハーモニー交響楽団  
第153回さいたま定期演奏会（バレエ公演）  
2026 **1.31** SAT  
開場13時20分 開演14時

指揮：飯森範親 バレエ：牧阿佐美バレエ団  
曲目：★印=バレエ付き  
【シेटラウスⅡ世/美しく青きドナウ】 【シेटラウスⅡ世/トリッチ・トラッチ・ポルカ★】  
【シेटラウスⅡ世/ポルカ・シュネル「元気にやろうぜ」】 【シेटラウスⅡ世/ポルカ・シュネル「ハンガリー五族」】  
ハチャトゥリアン/「仮面舞踏会」からワルツ★ チャイコフスキー/「白鳥の湖」からワルツ★  
チャイコフスキー/「白鳥の湖」から情景（第2幕冒頭）★ チャイコフスキー/「くるみ割り人形」からレバコ★  
チャイコフスキー/「くるみ割り人形」から花のワルツ★ ドヴォルジャーク/交響曲第9番「新世界」

©山岸伸 ©山岸康夫

公演詳細  
QRコード

日本フィルハーモニー交響楽団  
第154回さいたま定期演奏会  
2026 **3.28** SAT  
開場13時 開演14時

指揮：尾高忠明 ピアノ：牛田智大  
曲目：ベートーヴェン/ピアノ協奏曲第5番「皇帝」  
ベートーヴェン/交響曲第5番「運命」

©Martin Richardson ©Ariга Terasawa

公演詳細  
QRコード

会場：ソニックシティ 大ホール

※演者・曲目変更もございます。予めご了承ください。

最大25% OFF！ セット券がお得

2025シリーズセット券価格	S席	A席	B席	Ys席
6公演セット券(ホールメンバーズ)	27,000円	20,250円	15,750円	10,200円
6公演セット券(メルマガ・一般)	30,600円	22,950円	17,850円	10,200円
6公演+「第九」演奏会2025	S席	A席	B席	Ys席
定価	43,000円	32,500円	25,000円	14,000円
7公演セット券(ホールメンバーズ)	32,250円	24,380円	18,750円	11,900円
7公演セット券(メルマガ・一般)	36,550円	27,630円	21,250円	11,900円

●Ys席（25歳以下）はA席またはB席から選べます。

●車イス席（10席）をご利用の場合、Ys席と同料金になります。

〈チケットお申込み〉

ネット予約 <https://yyk1.ka-ruku.com/sonic-city-s/showList> ※ネット予約のご利用には、初めに利用登録が必要です。  
ホールメンバーズ事務局 048-647-7722（平日9：00～17：00）

# Sonic Dance Stage

## 2025.2.1 sat

～生演奏で踊るダンスイベント～

2025年2月1日(土)14:00 @ソニックシティ大ホール  
 全席自由 一般:3,000円 Ys(19歳以下):2,000円  
 048-647-7722(平日9時～17時)

【主催】公益財団法人埼玉県産業文化センター  
 【後援】埼玉県、埼玉県教育委員会、さいたま市、さいたま市教育委員会  
 【協力】株式会社アルフォ

坂戸高校 久喜工業高校 伊奈学園総合高校 越ヶ谷高校  
 ヒューマンキャンパスのぞみ高校 大宮商業高校 浦和商業高校  
 草加東高校 西武学園文理中学・高校 朝霞西高校 杉戸高校  
 常盤高校 上尾南高校 川口市立高校 栄北高校 埼玉栄高校



杉戸高校



埼玉栄高校



久喜工業高校



上尾南高校



川口市立高校



常盤高校



伊奈学園総合高校



草加東高校



坂戸高校



西武学園文理中学高校



浦和商業高校



大宮商業高校



越ヶ谷高校



ヒューマンキャンパスのぞみ高校



栄北高校



朝霞西高校

### [Live Music]



Music Salon 音楽～おとしづく～

### [Opening]



Saitama Old-School DANCE CLUB

### [Guest]

## KO-ney

AKAI Professional  
 オフィシャルMPCプレイヤー  
 フィンガードラマー  
 ビートメイカー

ソニックダンスステージ前夜祭  
 会場：武蔵野銀行本店2F  
 「M's SQUARE」  
 期間：2025年1月(予定)  
 内容：SDS2024の動画放映  
 写真展示



SONIC CITY

## クラウドファンディング

【期間：2024年10月31日～2025年1月15日】  
 お好きなペアチケットやオリジナルグッズもあります！  
 皆様のご支援よろしくお願ひいたします！



# 日本フィルハーモニー交響楽団

2025年1月演奏会



©ZUZANNA SPECIAL



SHUCHIRO MATSUJO



©Shin Yamaguchi



©Asahiro

指揮：山田和樹  
ヴァイオリン：周防亮介  
エルガー：行進曲《威風堂々》第1番  
ヴォーン・ウィリアムズ：掲げひばり  
エルガー：交響曲第2番

1/17, 18, 1/25 公演：好評発売中 1/26 公演：2024年10月25日(水)発売  
【1/17, 18, 25 公演】S ¥3,500 A ¥7,000 B ¥6,000 C ¥5,000 P ¥4,500 Ys (お歳暮以下) ¥2,000  
【1/26 公演】S ¥6,000 A ¥6,500 B ¥6,000 C ¥5,000 P ¥4,500 Gs (10歳以上) ¥5,000 Ys (お歳暮以下) ¥2,000  
Gs・Ys は5歳以上から販売です

指揮：藤岡幸夫  
フルート：Cocomi  
武満徹：組曲《波の盆》  
モーツァルト：フルート協奏曲愛2番  
ルグラン：交響組曲《シェルブールの雨傘》

2025. **117** (金) 19:00  
サントリーホール  
**18** (土) 14:00  
サントリーホール

2025. **125** (土) 17:00  
横浜みなとみらいホール  
**126** (日) 14:00  
東京オペラシティコンサートホール

※未成年者の入場はご遠慮ください。託児サービスがございます。※出演者、曲目等は変更される場合がございます。予めご了承ください。

お申込み  
お問合せ

日本フィル・サービスセンター

TEL: **03-5378-5911** / e チケット: <https://eticket.japanphil.or.jp>  
(平日 10時~17時)



## パレスホテル大宮 客室・レストラン&バーのご案内



ホテル  
まち・ひと・こころをつなぐ宿



シングルルーム、ダブルルーム、ツインルーム、スイートルーム等ご用意しております。

1F クラウン レストラン



1F カフェレストラン パルテール



2F 和食堂 櫻 けいざき



2F 中国料理 瑞麟 ずいりん



2F バー ロイヤルオーク



1F ラウンジ サロンドゥ カフェ



◆お得なプランやフェアなど、詳しい情報は下記で検索!

パレスホテル大宮

検索

<https://www.palace-omiya.co.jp>

大宮駅西口 ソニックシティ 歩行者デッキにて直結 徒歩3分

 **パレスホテル大宮**

〒330-0854 埼玉県さいたま市大宮区桜木町1丁目7番地5

☎ 048-647-3300